



国際交流基金

<http://www.jpf.go.jp/>

PRESS RELEASE

July 4, 2008 No. 346

アジアの若手知識人が アジア・大洋州地域における「ヒト」の移動について考察する 訪日プログラムを実施します

～ JENESYS 次世代リーダー招へいプログラム～

ジャパンファウンデーションは、来る7月に「アジア・大洋州地域における『ヒト』の移動：送出国 受入国及び当事者自身の利益を目指して」を主題に、日本を含む東アジア地域16カ国の若手知識人が参加する JENESYS 次世代リーダー招へいプログラムを実施します。

今回は、人の移動(migration)の経済効果、多文化共生社会、経済連携協定(EPA)、留学生などをキーワードに、「ヒト」の移動に関わる行政官、ビジネスパーソン、NGO職員、福祉教育分野関係者、ジャーナリスト、研究者などが、人々を送り出した国及び受入れた国、そして「移動する」当事者自身の三者が共に利益を受けられるような共通システムを構築できるかどうか、日本の課題と取組みを視察しながら考察します。

* 本プログラムは、「21世紀東アジア青少年大交流計画」(Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths、略称：JENESYS Programme)の一環として、東アジアコミュニティの異なる国・地域の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら言語、宗教、文化的背景などの差異を越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修です。年間を通じて様々な主題でアジア・大洋州地域の若手知識人を招へいしています。

期 間 : 2008年7月17日(木)～7月27日(日)

実施地 : 東京都、豊田市(愛知県)、美濃加茂市(岐阜県)など

参加者 全20名 主な参加者の出身団体は次の通りです。

国際移住機関(IOM)(タイ)、NewsBreak 誌(フィリピン)、ラオス労働社会福祉省、オーストラリア連邦政府移住・市民権部門、人身売買・外国人労働者問題を扱うNGO「TENAGANITA」(マレーシア)、紛争・移民問題を扱うNGO「Panos South Asia」(インド)、インドネシア経営者連盟、シンガポール・ナショナル・トレード・ユニオン(労働組合)など

詳 細 : <http://www.jpf.go.jp/j/jenesys/intel/exchange/jenesys08.html>

貴紙・誌にてお取り上げくださいますようお願いいたします。取材を歓迎いたします。

お問い合わせ : 日本研究・知的交流部 アジア・大洋州課 向/麦谷

電話 : 03 - 5369 - 6070

「地球を、開けよう。」

情報センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1

Tel:03-5369-6075 Fax:03-5369-6044